

# 北海道浮魚ニュース

平成 28 (2016) 年度 23 号

2016 年 11 月 10 日

道総研 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎ 11 月道南太平洋スルメイカ調査結果

木直沖のスルメイカ分布密度は過去の同時期の調査との比較では非常に低い値であった。

函館水試調査船金星丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：2016 年 11 月 7 日～11 月 8 日
- ・調査海域：道南太平洋、津軽海峡

昨年 (2015 年 11 月 11 日～11 月 13 日) 及び過去 5 年のデータと比較しました。

### 1. 水温 (図 1、2)

漁獲調査点 4 地点のうち、木直沖 St.1 の表面水温は 12.6℃ で昨年 (13.3℃) より 0.7℃、水深 50m の水温は 12.4℃ で昨年 (13.2℃) より 0.8℃低くなっていました。下北半島沖 St.8、浦河沖 St.15、函館沖 St.16 の 3 点は荒天により調査を実施できませんでした。海洋観測を実施した室蘭沖から津軽海峡東口にかけての水深 50m 層の水温は 12～15℃の範囲にあり、全体的に昨年より低くなっていました。

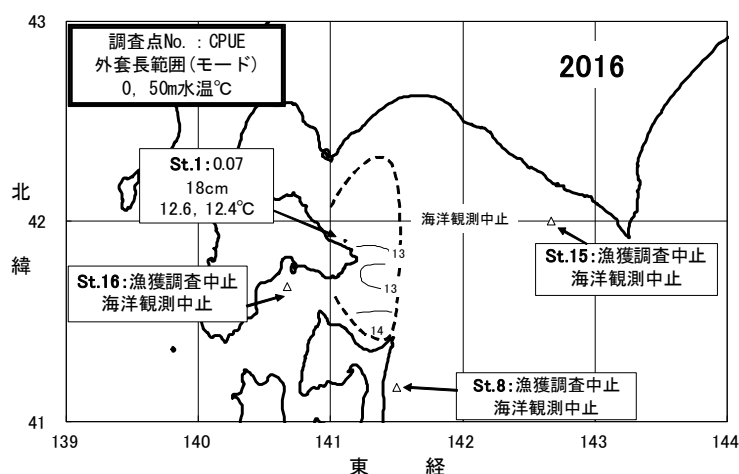


図 1 2016 年の漁獲調査結果と水温 (11 月 7 日～11 月 8 日)

●は漁獲調査点を示し面積は CPUE に比例。△は漁獲調査中止。等温線は 50m 水深の水温分布。

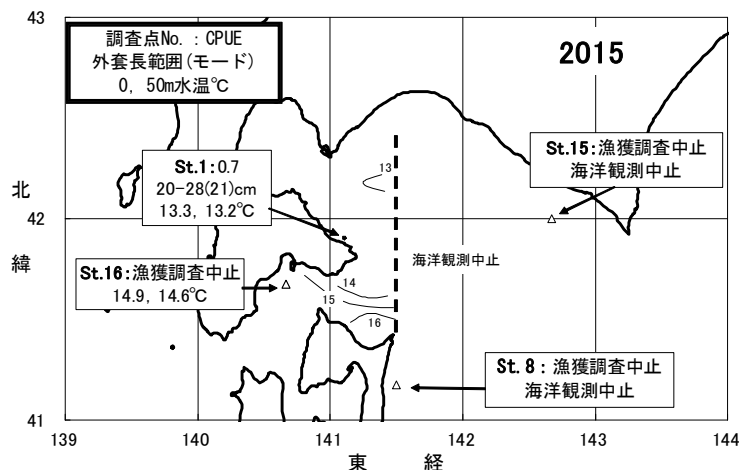


図 2 2015 年の漁獲調査結果と水温 (11 月 11 日～11 月 13 日)

●は漁獲調査点を示し面積は CPUE に比例。△は漁獲調査中止。等温線は 50m 水深の水温分布

表 1 2011 年以降の各調査地点の CPUE と海域全体の魚体サイズ。

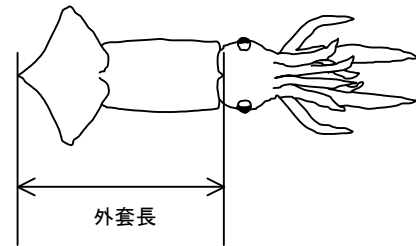
	2011 (H23) 11/7-11/11	2012 (H24) 11/5-11/9	2013 (H25) 10/28-11/1	2014 (H26) 11/11-11/12	2015 (H27) 11/11-11/13	2016 (H28) 11/7-11/8
St. 1 (木直沖) CPUE	1.4	3.0	6.1	-	0.7	0.07
St. 8 (下北半島東沖) CPUE	1.1	0.2	0.9	-	-	-
St. 15 (浦河沖) CPUE	0.04	-	53.7	10.2	-	-
St. 16 (函館沖) CPUE	2.4	0.9	0.5	-	-	-
平均 CPUE (尾/台・時間)	1.2	1.4	15.3	10.2	0.7	0.07
外套長の範囲 (cm)	12-29	4-25	15-29	21-28	20-28	18
各地点の外套長モード (cm)	24-26	19, 22	16-24	25	21	18

## 2. 分布密度 (図 1、2、表 1)

荒天のため漁獲調査点 4 点のうち木直沖 St.1 のみで漁獲調査を実施し、1 尾のみの漁獲がありました。CPUE (2 連式イカ釣機 1 台 1 時間あたり漁獲尾数) は 0.07 で、2011 年以降 (過去 5 年) の同じ調査点では最も低い値となり、2011 年以降の全調査点の中でも 2 番目に低い値でした。

## 3. スルメイカの大きさ (図 1~2、表 1)

木直沖 St.1 で漁獲されたスルメイカの外套長は 18cm (昨年 20~28cm) でした。



## 4. アカイカ

木直沖 St.1 でアカイカ 1 尾の漁獲 (CPUE 0.07) がありました。外套長は 28cm でした。

(函館水産試験場調査研究部 TEL : 0138-83-2893、FAX : 0138-83-2849)